第25回ASEAN+3首脳会議議長声明

(和文概要)

(2022年11月12日)

【ASEAN+3 (APT) 協力のレビューと将来の方向性】

- 過去25年間のAPT協力の進展に満足とともに留意。ASEANを牽引役とする地域共同体構築の取組において重要な役割を果たすAPTプロセスを更に強化・深化させることへのコミットメントを再確認。(パラ2)
- 2022年8月4日にカンボジアのプノンペンで開催された第23回APT外相会議で、後継のAPT協力作業計画(2023-2027年)が採択されたことを歓迎。(パラ3)
- 越境犯罪対策を行い、人身取引、サイバー犯罪、テロ及び暴力的過激主義対策並びに違法薬物取引といった非伝統的な安全保障問題に対処するための対話及び協力強化へのコミットメントを再確認。(パラ4)
- 世界と地域の平和、安定及び繁栄に貢献する上での多国間主義、地域主義及び国際法の重要性を強調。より広範なアジア太平洋及びインド洋地域へのASEANの関与の方針としてのインド太平洋に関するASEANアウトルック(AOIP)の重要性を再確認。相互信頼、相互尊重及び信用を一層促進し、地域の平和及び繁栄に貢献するため、海洋協力、連結性、持続可能な開発、経済及びその他といったAOIPに記載されたASEANの優先分野におけるASEAN+3の協力の強化及び促進を慫慂。(パラ5)
- 地域における新型コロナのパンデミックとの闘い及びその社会的・経済的影響の軽減におけるASEAN+3の協力強化の必要性を強調。特に、新型コロナASEAN対応基金、ASEAN包括的復興枠組(ACRF)及びその実施計画を含め、新型コロナに対応するためのASEAN加盟国及びASEANのイニシアティブに対する日中韓の支援及び貢献を認識。ASEAN感染症対策センター(ACPHED)の設立への日本の貢献を評価。ASEAN地域医療物資

備蓄（ARRMS）を補完する、ASEAN+3地域医療物資備蓄（APTRMS）の設立に向けた取組を強化することを従憑。（パラ6）

●パンデミックによる不利な社会・経済的影響からの地域の回復を進めるにあたり、ASEAN+3協力の強化の必要性を強調。ASEAN+3経済大臣がASEAN+3経済協力作業プログラム（ECWP）2023-2024を承認し、零細・中小企業の能力強化、貿易円滑化の改善、デジタル経済の発展促進、サプライチェーンの強靱化への貢献、APT研究機関間の共同研究活動における連携強化において引き続き前向きな成果を出したことを歓迎。（パラ7）

●ASEAN及び日中韓の間の貿易・投資関係の重要性を強調。（パラ8）

●地域のロジスティックシステム及びサプライチェーンの連結性、強靱性及び持続可能性を強化し、食品、医薬品、医療その他の必需品を含む必須の製品・サービスの流通を維持するために、市場開放を維持することの重要性を強調。外交、人道、科学、医療、科学技術及びビジネスの活動のためのヒト及びモノの不可欠な移動を促進し強化することによって、地域において必要で戦略的かつ機能的な相互関連性を維持することの必要性を強調。地域の経済回復を活性化させるため、安全で妨害されない、必要不可欠な旅行の再開の必要性を改めて表明。（パラ9）

●WTOを中心とした、開放的、自由、公正、包摂的、衡平で透明性のある、無差別でルールに基づく多国間貿易システムへの強いコミットメントを再確認。地域的な包括的経済連携（RCEP）協定の早期発効は、公正で開かれた多国間貿易制度を支持するとの我々の強いコミットメントを反映するものであり満足。RCEP協定の完全な実施は、新型コロナ後の社会・経済回復の努力に強力な刺激を与え、新しい貿易・投資の機会を奨励し、地域のサプライチェーンを保護するのに役立つだろう。（パラ11）

●新型コロナのパンデミックに対する包括的な世界的対応の促進及び協調における世界保健機関（WHO）の主要な主導的役割及び国連システムの基本的役割を認識。WHO総会決議74/7を全体として実行に移す重要性を認識。パンデ

ミックへの備えと保健上の緊急事態への対応に関するWHO条約、協定、その他の国際文書の策定を検討するというWHO総会決定74/16の決定を支持。
(パラ12)

●ASEAN+3緊急米備蓄(APTERR)及びASEAN食料安全保障情報システム(AFSIS)の完全かつ効果的な活用を通じたものも含め、特にパンデミック後の時期における、食料安全保障の確保におけるASEAN+3協力の強化を求める。(パラ13)

●APT諸国が民間部門を含む全ての関係者をさらに巻き込み、観光部門の復活を一刻も早く実現させることを奨励。(パラ14)

●公正で現実的かつ強靱なエネルギー移行を進めるために、クリーンで現代的なエネルギーインフラとサプライチェーンを改善し維持するためのイノベーション及び投資の拡大を加速することにより、持続可能な開発と成長に向けてパンデミック後の経済回復を追求するというASEAN+3エネルギー大臣会合(AMEM+3)コミットメントと液化天然ガス(LNG)の重要性に留意。(パラ15)

●地域のサプライチェーンの強靱性を強化し、新型コロナ後時代の復興を推進するために、デジタルトランスフォーメーションのアジェンダを推進するAPTの継続的な努力を賞賛。(パラ17)

●東アジア・ASEAN経済研究センター(ERIA)とASEAN事務局が実施した「零細・中小企業におけるデジタル格差解消のためのASEAN+3研究プロジェクト」の進捗を歓迎。(パラ18)

●新型コロナの影響を受けた人々や企業、特に零細・中小企業、新興企業、脆弱な集団を、デジタル経済への統合、デジタルインフラへのアクセス、技術の利用を促進すること等を通じて支援する必要性を強調。(パラ20)

●地域の強靱性を高めるため、デジタル経済の発展及び革新的な成長を支援。A

SEANスマートシティ・ネットワーク（ASCN）及びASEAN持続可能な都市化戦略を通じて地域におけるスマートで持続可能な都市開発を促進することに対する日中韓の高い関心に留意し、これらの取組を支持する更なる連携に期待。（パラ21）

●ASEANと日中韓の間で知的財産に関する協力を模索する必要性を認識。（パラ22）

●効果的で信頼性のある地域の自助的なメカニズム及びグローバル金融セーフティネットとしてのCMIMの一層の強化に対するASEAN+3財務大臣・中央銀行総裁による継続的なコミットメントを歓迎。ASEAN加盟国の気候・災害リスクに対する財政強靱性を強化するための東南アジア災害リスク保険ファシリティ（SEADRIF）の継続的な取組を歓迎。（パラ23）

●ASEAN・中国センター、日本アセアンセンター及びASEAN・韓国センターによるASEANと日中韓との貿易、投資、文化、観光及び人的交流を促進する取組を称賛。3センターが定期的な協議を実施してきたことを認識し、3センターに対して、共通の関心を有する分野における可能な共同プロジェクトを探求することにより、センター間の連携を高めるよう要請。（パラ24）

●ASEAN連結性マスタープラン（MPAC）2025の実施における進捗を評価し、持続可能で質の高いインフラ、デジタル革新、シームレスな物流、卓越した規制行政及びヒトの流動性といった戦略的分野におけるASEANと日中韓との協力を強化することを期待。（パラ25）

●文化交流と人と人とのつながりが、地域において意識を高め、異文化理解やASEANのアイデンティティを育むために重要であることを強調。（パラ27）

●ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを含むASEAN+3保健協力の優先分野の実施におけるコミットメントを再確認。（パラ28）

●アジア健康構想（AHWIN）の下での医療・福祉制度強化のための取組を認

識。(パラ 29)

●効率性、安全性、公平なアクセス及び手頃な価格での入手可能性という目的に従った、診断、治療法及びワクチンの開発、製造及び配布における協力の重要性、並びに地域のワクチンハブとしてのASEANの潜在性を検討することの重要性を認識。ワクチン研究、開発及び調達を通じたものを含めワクチン協力を拡大させ、ワクチンの多国間主義及びワクチンへの公平なアクセスを促進し、ASEAN+3諸国間での安全性、有効性及び品質が保証された、手頃な価格のワクチンの製造及び配布を加速させる必要性を強調。公衆衛生上の緊急事態やその他の危機に対するASEANと日中韓の準備、監視、予防、探知及び対応メカニズムを更に強化し、制度化するために、継続的なコミットメントを促した。(パラ 30)

●国連持続可能な開発目標(SDGs)を達成するため、持続可能で、包摂的かつ革新的な開発の促進、また、民間部門を含む全ての関係者との協力強化を進めるコミットメントを改めて表明。ASEAN+3海洋プラスチックごみアクション・イニシアティブを通じた日中韓による海洋ごみ削減への継続的な貢献を歓迎。特に、海洋プラスチックごみに対処するための東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)の海洋プラスチックごみナレッジセンター(RKC-MPD)の活動を歓迎。(パラ 32)

●女性に関するASEAN+3委員会(ACW+3)を通じて、ジェンダー平等及び女性・女児のエンパワーメントを促進するコミットメントを再確認。ASEAN共同体の柱を越えてジェンダー主流化を推進し、女性・平和・安全保障を推進する、女性に関するASEAN委員会(ACW)の継続的な取組を称賛。(パラ 34)

●キャンパス・アジア・プログラムにおける協力の強化を奨励し、APT諸国間の学生の移動と高等教育の質の保証に関するワーキンググループのイニシアティブを歓迎。(パラ 35)

●初のAPT労働高級実務者会合(SLOM+3)作業計画2021-2025

の効果的な実施を通じて、労働分野におけるA P T協力が強化されていることに留意。(パラ38)

●特に、防災緊急対応協定(AADMER)作業計画2021-2025及びONE ASEAN ONE RESPONSEに関する宣言の実施を支援するための災害管理及び緊急時対応に関する地域協力の強化を慫慂。(パラ39)

●科学、技術、イノベーション、メディア、エネルギー安全保障、鉱物といった他の分野においてより緊密な協力を築くことの重要性を強調。(パラ40)

●科学・技術・イノベーション(STI)におけるA P T協力の強化に留意。(パラ41)

●東アジア協力を更に深めるために、政府、ビジネス、学界及びシンクタンクが提言を行うためのトラック1.5のプラットフォームとしての東アジア・フォーラム(EAF)の重要な貢献を認識。(パラ42)

●ASEAN+3協力に向けた東アジア・シンクタンク・ネットワーク(NEAT)の重要な貢献を認識。(パラ43)

【地域・国際情勢】

(ミャンマー情勢)

●ミャンマーにおける最近の情勢について広範に議論し、4名の民主活動家の死刑執行を含む、同国の長期化する政治的危機及び同国の人道状況を悪化させている継続する暴力について深い懸念を表明。2022年1月のフン・セン・カンボジア王国首相によるミャンマー訪問及び2022年3月及び6月下旬から7月初旬にかけてのミャンマーに関するASEAN議長特使としてのトラック・ソコン・カンボジア王国副首相兼外務国際協力大臣によるミャンマー訪問を含め、状況に対処するための取組を歓迎。5つのコンセンサスの適時かつ完全な実施における限られた進展及びミャンマー国軍当局のコミットメントの欠如に深く失望。地域の平和と安定に対するコミットメントを改めて表明するとと

もに、人道支援の提供を含め、ASEANが積極的、平和的かつ建設的にミャンマーを支援する用意があることを表明。これに関し、「5つのコンセンサス履行に関するASEAN首脳レビューと決定」の採択に留意。ミャンマーに関するASEAN議長特使が、可能な限り早期にミャンマーの全ての関係者と関与しなければならないことを支持。(パラ44)

(朝鮮半島)

●複数のAPT諸国は、北朝鮮による大陸間弾道ミサイル(ICBM)実験及び弾道ミサイル発射の最近の急増、並びに核兵器使用の可能性に関する事態をエスカレートさせ不安定化をもたらすレトリックに重大な懸念を表明。この懸念すべき事態は、朝鮮半島における緊張を高め、地域及び世界の平和と安定を脅かす。非核化され、平和で繁栄した朝鮮半島を実現するための韓国の取組を含め、全ての当事者による継続した平和的な対話の重要性を強調。北朝鮮に対し、全ての関連する国連安保理決議を完全に遵守することを求めた。全ての関連する国連安保理決議の完全な履行へのコミットメントを改めて表明し、朝鮮半島の完全な、検証可能な、かつ不可逆的な非核化を平和的な方法で実現するための国際的な取組に留意。当事者による平和的な対話に資する雰囲気を促進する上で、ASEAN主導のプラットフォームの活用を通じたものを含め、建設的な役割を果たす用意があることを改めて表明。拉致問題の即時解決を含む国際社会の人道上の懸念の問題に対処することの重要性について複数のAPT諸国が表明した見解に留意。(パラ45)